

くろしお協力隊に聞く 番外編

町外から移住し、地域活性化・元気づくりに取り組む、10名の黒潮町地域おこし協力隊のメンバーを紹介します。



まつ うら もえ
松浦 萌
企画調整室
移住相談員



まつ うら りゅう た
松浦 隆太
企画調整室
集落支援員
(集落活動センター・蛸川)



たか はし とおる
高橋 徹
企画調整室
鉄道を中心とした
地域活性化(佐賀駅)



にし じ みち ひろ
西地 道弘
健康福祉課
地域づくり活動推進員
(社会福祉協議会)



うめ づ ひろ み
梅津 裕美
農業振興課
農業支援
(小川アグリ)



せ のう はや き
姓納 早岐
産業推進室
観光事業者支援・
情報発信担当



にし かわ だい じ
西川 太悟
産業推進室
情報発信コーディネーター



たき もと じゅん ぺい
瀧本 淳平
産業推進室
観光ネットワーク担当



ふく もと ま ゆ
福本 麻愉
産業推進室
(株)缶詰製作所担当



たか はし ま り え
高橋 茉莉江
教育委員会
大方あかつき館
文学館担当

Kramer's Corner クレームのコーナー



今月のテーマ

13日の金曜日

この記事を書いている今は9月13日。今朝、同僚の1人と話し、今日が13日の金曜日という不吉な日だということに気づき、なぜ不吉な日だと思われるのかという話になりました。「アメリカのホラー映画「13日の金曜日」から来ているのでは」、と同僚は言いました。僕は、きつともっと昔からあったと思ったが、どこから来たのかわからなかったので調べてみました。

13日の金曜日は、1年に必ず1回以上、最大3回まで現れます(今年は9月と12月の2回)。多くの迷信と同じように、いろいろな説があるが、英語圏では何百年前から「13」という数字は不吉な数字と見なされています。1つの説は北欧神話に由来します。その話では、いたずら者の神ロキが招かれざる13人目の客として宴席に現れ、もう1人の神バルドルの殺害を仕組み、それ以来13は不吉な数字となりました。もう1つの説によると、キリストの最後の晩餐に13人の人がいたから、13は不吉な数とされました。キリストは翌日の金曜日に処せられたから、この話は金曜日の不運を説明するものでもあります。由来が何であれ、13日の金曜日を恐れる人が多く、この日に旅行や飛行機を避けることがよくあります。そして面白いことに、欧米の高層ビルのほとんどは13階がありません。

皆さんは、13日の金曜日をどう思いますか。これを読んでいるということは、今年最初の13日の金曜日を無事に生き抜いたということです。12月の2回目もきっと乗り切れるでしょう。

今月の使える! 英語



ドゥ ユー ビリーヴ イン スパスティションズ
Do you believe in superstitions

「Do you believe in～」は「～を信じますか」という意味で、「superstitions」は迷信。

